

漢字の学習 中学一年生までに学習した漢字

※ 福島県立高等学校の入試問題を載せています。二〇一八平成30年度福島県立高等学校入学者選抜試験問題の場合には(H30)、改題の場合は(H30改)と簡略化して表記してあります。

一字の漢字の書き取り

線部のカタカナを漢字に直しなさい

- ① お金を銀行にアズける。(H30) ()
- ② イチジルしい成績の向上。()
- ③ イサギヨク負けを認めた。()
- ④ 問題の解き方に頭をナヤます。()
- ⑤ 学問をオサめる。()
- ⑥ スコやかに育つ。()
- ⑦ カリていた本を返す。()
- ⑧ キビしい試合を戦い抜く。()
- ⑨ 本のページをクル。()
- ⑩ 休み時間をモウける。()
- ⑪ 柿の実がジユクしてきた。()
- ⑫ ごみをスではいけない。()
- ⑬ 疑問点についてタズねる。()
- ⑭ この車は少々見オトリする。()
- ⑮ 初志を貫くようにツトめた。()
- ⑯ 雪が降りツもってきた。()
- ⑰ 早くネるよう呼びかける。()
- ⑱ 桜の皮でソめた布。()
- ⑲ ユルやかなカーブを曲がる。()
- ⑳ 希望をイダいて前に進もう。()

二字の漢字の書き取り

線部のカタカナを漢字に直しなさい

- ① アクシユをして別れる。()
- ② 彼の足の速さは親のイデンだ。()
- ③ 筆者のイトをつかむ。()
- ④ ごみのゲンリヨウ作戦。(H30) ()
- ⑤ シュンカン接着剤を使う。()
- ⑥ 病状がカイホウに向かう。()
- ⑦ ビミヨウな違いに気付く。()
- ⑧ お客をシヨウタイする。()
- ⑨ 会社にシュウシヨクする。()
- ⑩ 飲料水をキヨウキユウする。()
- ⑪ 先生にインソツされていく。()
- ⑫ おおよそのケントウをつける。()
- ⑬ カクシンに満ちた口調。()
- ⑭ シンセンな果物。()
- ⑮ 生きるためのシシンを示す。()
- ⑯ 小説のヒヒヨウをする。()
- ⑰ 昔からのカンシユウを改める。()
- ⑱ 彼らのすぐれたギョウセキ。()
- ⑲ センモン家に相談する。()
- ⑳ 水分は自然にジヨウハツした。()

三字の漢字の書き取り

線部のカタカナを漢字に直しなさい

- ① 予備のカンデンチを準備する。()
- ② フシギなことがあるものだ。()
- ③ ユウビンキョクで切手を買う。()
- ④ エンチヨウセンで勝ち上がる。()
- ⑤ フツゴウがあれば言いなさい。()
- ⑥ ビセイブツの働きを研究する。()
- ⑦ シュウカンシの記事を読む。()
- ⑧ シヨウカセンを点検する。()
- ⑨ ヤクザイシの資格をとる。()
- ⑩ 少数意見をドガイシする。()
- ⑪ キチヨウヒンをしまう。()
- ⑫ 代々ザツカシヨウを営む。()
- ⑬ テイキアツが近づいてきた。()
- ⑭ カクセイキを使い呼びかける。()
- ⑮ 駅のシュウトクブツ取扱所。()
- ⑯ ヨウチエンに通った思い出。()
- ⑰ スイボクガの世界を味わう。()
- ⑱ 友人にレットウカンを感じる。()
- ⑲ ヒジヨウシキな言動に驚く。()
- ⑳ 生徒会役員にリッコウホする。()

国語一 随筆文を読む

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

はるか、文字すらないむかしから、人はたくさん物語をつむいできました。
 プロットを立てて、物語をどうやって組み立てるのか、そういう「物語の方程式」を教えることは簡単です。でも方程式どおりに組み立てた作品は、だいたいがありがちの展開、ありきたりの物語に墜ちてしまいます。プロの作家は、反対に、お決まりの **I** をいかに外すかを必死で考えているのです。

ありとあらゆる物語がすでに書きつくされてしまったかのように思えるなかで、自分だけが書くことができる物語に、どうしたらたどりつけるのか。それだけは、人から教わることはできない、それぞれの作家が自分自身で見つけ出すしかないことなのです。
 この本では、私が物語を書くことができるようになるまでを振り返ってみたいと思います。私なりに歩んできた道のりが「どうしたら作家になれるのか」という質問の、ひとつ答えになっているといいたいです。

私は河合隼雄物語賞という文学賞の審査員をしているのですが、その賞の創設を記念して、村上春樹さんが京都で行った講演を聞いたとき、彼が語ったエピソードが、いまでも心に焼きついています。

ある若者が、有名なジャズピアニストに「あなたのような音を出すにはどうしたらいいですか」と聞いたら、そのジャズピアニストは彼を「誰にとっても鍵盤はこの数しかないよ」

小説も同じです。誰にとっても、道具はパソコンやペン、そして頭と手だけ。
 *プロット…小説・物語などの筋

(出典 上橋菜穂子 瀧 晴巳『物語ること、生きること』講談社より)

(1) ① 「つむいで」のここでの意味を書きなさい。

(2) ② 「ありきたりの物語」と対照的な意味で使われている部分を文章中から書き抜きなさい。

(3) 文中から書き抜き、**I** **II** にそれぞれあてはまる三文字を、**I** は **II** は と考えて書きなさい。

I

II

(4) ③ 「彼が語ったエピソードが、いまでも心に焼きついています」について答えなさい。

I 「エピソード」が指している内容を文中から探し、最初と最後の三字をそのまま書き抜きなさい。

II 「いまでも心に焼きついている」理由について最も適当なもの、次のア～エの中から一つ選びなさい。

- ア どうプロットを組み立てても、自分だけが書くことができる物語は、もう書きつくされたことに気づいたから。
- イ 自分だけが書くことができる物語は、自分自身で見つけ出すしかないことを確かめられたから。
- ウ ありとあらゆる物語の中から、方程式どおりに組み立てた作品を見つけ出す方法がわかったから。
- エ 自分だけが書くことができる物語を生み出すための物語の方程式を教わることができたから。

漢字と語句のドリル
 語句

次の□に適当な漢数字を入れて四字熟語を作りなさい。

⑤	再	再
④	<input type="text"/>	<input type="text"/>
③	<input type="text"/>	<input type="text"/>
②	<input type="text"/>	<input type="text"/>
①	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	日	秋
	朝	夕
	差	別
	転	倒

上橋菜穂子さん「守り人シリーズ」や「獣の奏者」「鹿の王」の作者でもある上橋さんは二〇一四年に国際アンデルセン作家賞を受賞しました。
 この賞は「児童文学への永続的な寄与」に対する表彰として贈られる賞で、「小さなノーベル賞」とも呼ばれます。
 賞の名前にもなっている「アンデルセン」はデンマークの作家です。「裸の王様」や「人魚姫」「雪の女王」のお話覚えていますか。これらは彼の作品です。

国語二 詩を読む

次の詩を読んで、あとの問いに答えなさい。

橋

高田敏子

少女よ

橋のむこうに

何があるのでしょうか

私も いくつかの橋を

渡ってきました

いつも 心ときめかし

急いで、かけて渡りました

あなたがいま渡るのは

あかるい青春の橋

そして あなたも

急いで渡るのでしょうか

むこう岸から聞こえる

あの呼び声にひかれて

(出典 『月曜日の詩集』 日本図書センターより)

(1) 上のような形式の詩を何といただけますか。次の中から選び書きなさい。

文語定型詩・文語自由詩・口語定型詩・口語自由詩

(2) 「あの呼び声にひかれて」の後に言葉を補うとしたら、どのような言葉が適当ですか。詩の中から十一字でそのまま書き抜きなさい。

(3) この詩について意見を述べたもののうち最も適当なものを、次のア～エの中から一つ選びなさい。

- ア かけて渡るのは、橋が揺れてどきどきするからだと思う。
- イ 目の前の橋を「あかるい青春の橋」にたとえているのだろう。
- ウ むこうに何があるか期待して橋を渡っていくのだと思う。
- エ 友の呼び声が聞こえて喜びで胸がいっぱいになっている。

□

(4) 「私」の心情を次のようにまとめました。(I)には、適当な語句を二字で詩の中からそのまま書き抜き、(II)には、最も適当なものを選びなさい。

あかるい青春の橋を渡ろうとしている(I)に、いくつかの橋を渡ってきた私が、(II)で語りかけている。

- ア 複数の橋があるので遅れないよう注意したい気持ち。
- イ 心ときめかす姿を温かく見守りたい気持ち。
- ウ 今いる橋の状態をわかりやすく教えたい気持ち。
- エ かつての自分を重ね合わせなつかしむ気持ち。

I □

II □

漢字と語句のドリル

読み

線部を漢字の読みを書きなさい。

- ① 情報じょうほうが付随ついでする。(H 24)
 - ② 次第しだいに明るくなる。(H 25)
 - ③ 納得なつとくのいく仕上がり。(H 27)
 - ④ みんなの面倒めんどうをみる。(H 22)
 - ⑤ 精巧せいこうな機械。(H 22)
 - ⑥ 目を背そむける。(H 23)
 - ⑦ 木枯こらしが吹く。(H 24)
 - ⑧ 声こゑを絞しぼり出す。(H 30)
 - ⑨ 手触てふりを確たしかめる。(H 28)
 - ⑩ 机こゝろの隅すみ。(H 21)
- 書き
- 線部を漢字で書きなさい。
- ① 力をハツつキする。(H 23)
 - ② 新あたらしいチヨウウセン。(H 28)
 - ③ お菓あま子のコウカこうかン。(H 26)
 - ④ 親おやしくマジまじわる。(H 22)
 - ⑤ 用事ようじがスすんだ。(H 26)
 - ⑥ 成功せいこうにミチみちビク。(H 27)

一 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

実験ではある小さいものを、テーブルに並べてあるカップの下に隠します。その後、一八〇度反対に向いた同じ形のテーブルの上に、同じ配置でカップを置き、さっきのものは、さっきと同じ場所にあるから探して欲しい、とシジしました。

私たちのように「前後左右」で位置を表すのが主流の**相対枠組み**の言語の話し手であるオランダ人は、自分を中心に、先ほどと相対的に同じ位置にあるコップの下を探しました。つまり一八〇度回転したので、絶対的な方位としては先ほどと逆の方位にあるコップを選んだのです。しかし、絶対枠組みの話し手であるハイコムの人たちは、一八〇度回転しても、絶対的な方をキジュンにした「同じ」位置にあるコップの下を探しました。つまり、自分を中心にした時の左右の順は逆になったわけです。

③、子どもは相対的な枠組みと絶対的な枠組みのどちらが使いやすいのでしょうか。

七歳児の子どもは、自分の言語を話す大人と同じ反応をしました。つまり、オランダ人の子どもは④「左」「右」が同じになる位置のカップの下を探し、ハイコムの子どもは、絶対的な方が同じ位置にあるカップを探しました。

それに対して四歳児は、どちらの言語を話しても、ともに絶対的な方が同じところが「同じ場所」だと思ったのです。研究者たちはさらに同様の実験を、手続きを変えて、ゴリラ、チンパンジー、オランウータンの三種の類人猿にも行いました。

⑤ 三種の類人猿すべてが、ヒトの四歳児と同じように、絶対的な方が同じ位置になるカップを選びました。

つまり、「左」「右」などのことばを学習する前の子どもの場合、空間上のモノの位置の捉え方は、ゴリラやチンパンジー、オランウータンと同様に【A】枠組みに従っているようです。ここからスイサツすると、小さい子どもにとってより自然な位置の捉え方は【A】枠組みだと考えられます。こう考えると、まずまず【B】枠組みに従った「前」「後」「左」「右」が子どもにとって難しいことばだということがわかります。

絶対枠組みは、相対枠組みのように、だれ(あるいは何を)を中心とした視点をとるのかで生じる曖昧さが無いという**利点**があります。それなのに、なぜ日本語、オランダ語、英語をはじめとした多くの言語では【B】枠組みのことばをつくり出し、それらを主に使っているのでしょうか。

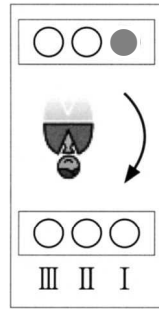
*ハイコム：アフリカにあるナミビア共和国の部族名

(出典 今井 むつみ『ことばの発達の謎を解く』ちくまプリマー新書より)

(1) 文中のア〜ウのカタカナを漢字に直し、楷書で書きなさい。(各2点)

ア
イ
ウ

(2) ①「オランダ人」と②「ハイコムの人たち」は、次の図の●と同じ場所を下のI〜IIIのどれと考えるのですか。それぞれ記号で書きなさい。(各3点)



②
①

(3) ③、⑤にそれぞれあてはまる接続することばで最も、適当なものを、次のア〜オの中から一つずつ選びなさい。(各2点)

ア さらに イ しかし ウ つまり エ すると オ では

③
⑤

(4) ④にあてはまる言葉をこれより前の文中から八字で探し、そのまま書き抜きなさい。(2点)

(5) ⑥『左』：子ども」と同じ内容を指す表現を本文中から三字で書き抜きなさい。(2点)

(6) ⑦「利点」の類義語を書きなさい。(2点)

(7) 【A】、【B】それぞれにあてはまる二字の言葉を文中からそのまま書き抜きなさい。(各2点)

A

B

二次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

夜中にノドが渴いて目が覚めた。水を飲みに一階に下りたら、リビングから話し声が聞こえた。ドアの隙間からそつとのぞくと、父さんとお母さんの前でおじさんがうなだれている。そんな頼りないかつこうのおじさんを見るのは初めてだったのでビックリした。

父さんがなにか話し始めた。これまで耳にしたことがないような厳しい口調だったから、ますますビックリした。

「明良くん。これまで女房が君の借金の尻ぬぐいをしていたことにはずつと目をつぶってきたが、もうこれ以上助けることはしないよ。君を甘やかすことにはかならないからね。自分の人生は自分で切り開いていかなければならない。それが大人っていうものなんだよ。」

テレビでかわいそうな話のニュースを見ると目をうるませて鼻をすすり、募金箱があれば必ず小銭を入れる気の優しい父さんが、よりよって自分の弟のようにかわいがっているおじさんの頼みを断っている。

ヒロトは大人たちに気づかれぬようにそつと自分の部屋に戻った。

翌朝、おじさんは学校に行くヒロトと一緒に家を出た。バイクを押して黙って隣を歩くおじさんを横目で見ながら、迷いに迷ったあげく、ヒロトは思い切つて口を開いた。

「昨日の夜ね。父さんたちが話をしているのを聞いてちゃった。おじさんのことを助けてあげないなんて、父さんは冷たいね。ボク、父さんのこと嫌いになっちゃったよ。」

すると、おじさんはバイクを止め、ヒロトと目を合わせるようにかがみこんだ。

「そんなこと言つちやダメだ。ヒロトには冷たく聞こえたかもしれないけど、お父さんはこれまで誰も言つてくれなかった一番温かい言葉を俺にくれたんだ。そのおかげで、俺はこれまでの自分が子供みたいなものだったことにやつと気がついた。これからはお父さんみたいな立派な大人になるように一生懸命がんばるよ。」
おじさんの目はまっすぐだった。

(出典 相良 翔『ぬるま湯父さん』フェリシモ出版より)

- (1) ① 「おじさんがうなだれている」と対照的なおじさんの様子を表した

一文の、最初の六字を本文からそのまま書き抜きなさい。(2点)

- (2) 「明良くん」とは、ボクにとってどういう関係の人物ですか。文中の語句で書きなさい。(2点)

- (3) 「目をつぶってきた」のここでの意味を簡単に書きなさい。(2点)

- (4) 「気の優しい」と対照的な父さんの様子を文中から五字でそのまま書き抜きなさい。(2点)

- (5) 「そんなことを言つちやダメだ」とはおじさんのどんな気持ちか込められていますか。最も適当なものを、次のア～エから一つ選びなさい。(2点)
- ア ヒロトの考え違いをわかりつけようとする気持ち。
 イ ヒロトの考え違いを論そうとする気持ち。
 ウ ヒロトの考え違いをうれしく思う気持ち。
 エ ヒロトの考え違いをばかにする気持ち。

- (6) 「一番温かい言葉」を次のようにまとめました。適切な言葉をアは文中から九字でそのまま書き抜き、イは文中の言葉を使って十六字で書きなさい。(各2点)

ア	-----	イ	-----
-----	-----	-----	-----
-----	-----	-----	-----
-----	-----	-----	-----
-----	-----	-----	-----

こえるかもしれないが、大人として、
 ことを願う言葉。
 という言葉は冷たく聞

三次の各文の()の中に適当な語句を下から選んで書き入れ、意味の通る文にしなさい。(各2点)

- ① 子どもが表彰されれば、親も()が高いでしょう。
 ② その少年の記憶のよさに、だれもが()を巻く。
 ③ あの人は、絵画や彫刻のことにかけて実()が高い。
 ④ 母は()によりをかけて、ごちそうを作った。
 ⑤ 彼には、さすがの彼女も()が立たない。

舌 鼻 目 腕 歯